

令和8年度（2026年度）事業計画書

一般社団法人KATARU （期間：2026年4月1日～2027年3月31日）

1. 法人の概要

法人名	一般社団法人KATARU（いっばんしゃだんほうじんかたる）
代表者	代表理事 牛島 道太
事務所（活動拠点）	〒833-0031 福岡県筑後市山ノ井138-23 MEIJIKAN1階（民設民営図書館「みんとしょかたる」） ※登記上の主たる事務所：福岡県筑後市溝口1161-2
連絡先	電話 070-5530-5771 / メール info@mintosyokataru.org / https://www.mintosyokataru.org
設立	2023年11月22日
スタッフ	4名（代表理事、職員・パート）＋ボランティア

2. ミッション・ビジョン

ミッション	誰もが“学ぶって楽しい”を再発見できる、学び場を地域につくる
ビジョン	すべての子どもが自分らしく学べて、生き抜く力をつけることができる社会
コミットメント	学校・行政・企業・地域との協働で、学びの仕組みを創設していく

3. 令和8年度のゴールと具体策

ゴール	① 不登校の児童生徒の保護者・学校・支援者が、金銭的負担をなるべく少なくフリースクールカタルを利用できる収益状態をつくる ② スタッフ4名で、利用者15名程度に週3回以上、安定して学習支援を行えている状態をつくる		
具体策	① 本棚オーナー・企業スポンサーを増やす（企業スポンサー10社を目指す） ② 収益事業（セミナー、カタルギフト珈琲など）を始める ③ SNS広告でマンスリーサポーターを増やす ④ 筑後市との委託について協議を進める ⑤ 2027年度に向けて民間助成金に申請し、休眠預金等活用事業の自己資金（民間資金）と新しい事業の財源を確保する		
会員等の目標	区分	2026年4月 現在	2027年3月 目標
	本棚オーナー・マンスリーサポーター会員	39人	50人
	マンスリーサポーター会員	—	40人
	企業スポンサー	4社	10社
	ボランティア	0人	10人
	フリースクール利用者	—（5月開所）	15人程度

4. 事業の内容

事業名	内容
(1) フリースクールカタル	不登校の小中学生の学びの場。毎週月・水・金曜日に開所（2026年5月1日開所）。イエナプランの考え方を取り入れ、教科学習と探究活動（水・金曜日の午後）、地域の大人や企業と連携した体験活動を組み合わせる。発表会など広い会場が必要なときはサザンクス筑後を借りる。
(2) 民設民営図書館「みんとしょかたる」	本棚オーナー制度で地域の大人が本と場を持ち寄る私設図書館。子どもも大人も無料で過ごせる居場所として開放し、読み聞かせ・工作・ボードゲーム等のイベントや本棚オーナー交流会を行う。
(3) アウトリーチ	外部とつながれていない不登校の子どもと家庭に向けて、オンラインの居場所（週1回）、家庭訪問、Instagram・公式LINEでの匿名相談を行う。2027年度に向けて、移動図書館（軽バン）での巡回を計画する。
(4) 保護者支援	保護者向け説明会・個別相談会、交流会（かたるカフェ、保護者座談会）、進路の情報を届ける「こんな高校あったんだフェス」を開催する。
(5) 地域・学校・行政との連携	筑後市・大木町の教育委員会、南筑後教育事務所、小学校（羽犬塚小・筑後小）と協議し、出席扱いや連携の仕組みをつくる。筑後市子ども家庭サポートセンター、大木町こども未来課、社会福祉協議会とも連携する。
(6) セミナー事業	子育て・不登校・子どもの権利などをテーマに、月1回程度セミナーを開く（参加費制）。フリースクールの周知と、本棚オーナー・サポーター会員の増加につなげる。

(7) 相談支援事業	スクールソーシャルワーカーとして学校（小中学校・私立高校・通信制高校）で相談支援を行う（受託）。
-------------------	--

※(1)～(4)は休眠預金等活用事業「ひとりひとりに合った多様な学びを支える地域共生事業」（資金分配団体：ちくご川コミュニティ財団、2025～2027年度）として実施する。

5. 年間スケジュール			
月	子ども・フリースクール	保護者・地域・関係機関	法人運営・資金調達
4月	フリースクール プレ開始（4/10） 本棚オーナー交流会	個別相談会 筑後市教育委員会と協議	休眠預金事業 事業計画の修正
5月	フリースクール開所（5/1）・開校式	南筑後教育事務所と協議	理事会・総会（事業報告）
6月	オンラインの居場所を開始 本棚オーナー交流会	保護者向けハイブリッド説明会 （6/7） こんな高校あったんだフェス （6/21）	
7月		保護者向け説明会（7/1、7/13） セミナー（7/12）	理事会
8月	ちっここどもさーどぶれいす （8/9、8/23） 企業見学・体験活動 本棚オーナー交流会	保護者向け説明会（8/5、8/24）	
9月		セミナー（9/27）	休眠預金事業 予算変更
10月	カスタムクレヨンのイベント	こんな高校あったんだフェス 羽犬塚小と協議 教育委員会・南筑後教育事務所と協議	休眠預金事業 中間評価・事業計画変更 助成金申請：ベネッセこども基金 （10/19）、日本財団・NAGASEこどもみらい財団（10/30）、麒麟福祉財団・日工組社会安全研究財団（10/31）
11月	遠足（11/23）	かたるカフェ 筑後小と協議 セミナー（11/22）	クラウドファンディングの準備 助成金申請：ニッセイ財団（11/4）、CO・OP共済（11/13）、キュービーみらいたまご財団・子どもすこやか基金（11/16）、年賀寄付金（11/18） 赤い羽根福祉基金の公募確認
12月		保護者座談会	理事会
1月	本棚オーナー交流会（オンライン）		クラウドファンディング開始（移動図書館「かたる号」、1月中旬～3月中旬） 助成金申請：全互協 社会貢献基金（1/31郵送）
2月	本棚オーナー交流会		助成金申請：不採択分の備えとして、こどものみらい基金・原田積善会（随時）
3月	1年間の学びの振り返り		理事会 2027年度 事業計画・収支予算の決定（助成金の採否を反映） 2027年度の助成金申請スケジュールの確認

共通	フリースクール：毎週月・水・金（探究は水・金の午後）／オンラインの居場所：週1回／体験活動：月2回程度／保護者説明会・交流会：月1回程度
----	--

6. 資金調達計画（2027年度に向けた民間助成金への申請）
詳しくは「資金調達計画」シートを参照。採択された助成金は、休眠預金等活用事業の自己資金（民間資金）と、移動図書館などの新しい事業に充てる。

令和8年度（2026年度）収支予算書

一般社団法人KATARU （2026年4月1日～2027年3月31日）

（単位：円）

【収入の部】					
科目	内訳	休眠預金等活用事業	自主事業	合計	説明
会費	イベント参加会費	0	480,000	480,000	休眠預金事業の自己資金計画（会費）
寄付金	本棚オーナー	0	1,200,000	1,200,000	本棚オーナー（月2,000円～）
	マンスリーサポーター	0	120,000	120,000	カタルサポーター（月1,000円～）
	企業スポンサー	0	300,000	300,000	企業スポンサー（月10,000円～）
助成金	休眠預金等活用事業	9,756,004	0	9,756,004	ちくご川コミュニティ財団「ひとりひとりに合った多様な学びを支える地域共生事業」2026年度助成額（事業費9,361,004円＋評価関連経費395,000円）
事業収入	セミナー参加費	0	150,000	150,000	セミナー事業（参加費制）
	相談支援事業ほか	0	2,950,000	2,950,000	スクールソーシャルワーク等の受託、物販等（要確認：実績に合わせて内訳を修正）
収入合計		9,756,004	5,200,000	14,956,004	

【支出の部】					
科目	内訳	休眠預金等活用事業	自主事業	合計	説明
人件費	給料賃金（職員）	4,980,000	0	4,980,000	休眠預金事業の職員給与
	給料賃金（評価担当）	120,000	0	120,000	休眠預金事業の評価関連経費
	法定福利費	456,000	0	456,000	休眠預金事業分の社会保険料
	役員報酬・給与・法定福利費（自主事業分）	0	5,129,000	5,129,000	うち2,250,000円は休眠預金事業の自己資金（民間資金）として社員給与に充てる
謝金・報酬	講師謝金・専門職報酬	643,600	0	643,600	休眠預金事業（直接事業費）
	税理士・社会保険労務士等の報酬	673,200	0	673,200	休眠預金事業（管理的経費）
家賃	みんとしょかたる 地代家賃	1,518,000	0	1,518,000	活動拠点（筑後市山ノ井）
事業費	備品・消耗品費	355,000	0	355,000	教材・消耗品等（評価関連の消耗品25,000円を含む）
	旅費交通費	232,000	0	232,000	家庭訪問・連携先訪問、評価関連の旅費100,000円を含む
	車両費	144,000	0	144,000	送迎・アウトリーチの車両費
	広告宣伝費	176,000	0	176,000	チラシ・SNS広告等
	外注費・委託費	258,000	0	258,000	管理的経費の外注108,000円、評価関連の委託150,000円
	支払手数料	44,000	0	44,000	振込手数料等
通信費	通信費	156,204	0	156,204	インターネット・電話・クラウドサービス
税金	法人住民税等	0	71,000	71,000	
支出合計		9,756,004	5,200,000	14,956,004	

収支差額		0	0	0	収入合計-支出合計
------	--	---	---	---	-----------

※ 休眠預金等活用事業の2026年度の自己資金（民間資金）計画は2,250,000円（会費480,000円、本棚オーナー1,200,000円、マンスリーサポーター120,000円、企業スポンサー300,000円、セミナー参加費150,000円）。

※ 2027年度に向けて申請中の民間助成金（「資金調達計画」シート）は、採択後の2027年度予算に計上する。本予算には含まない。

※ 「相談支援事業ほか」の内訳は、決算の実績に合わせて修正すること。

※ 2027年1～3月に行う移動図書館「かたる号」のクラウドファンディング（目標120万円）は、かたる号の資金として別に管理し、本予算には含めていない。集まった額が確定したら補正予算で反映する。

資金調達計画（2027年度に向けた民間助成金への申請）

一般社団法人KATARU 2026年10月15日 現在

No.	助成元・プログラム	締切	申請額（円）	申請する事業	休眠預金事業との関係	状況・次にすること
1	ベネッセこども基金 こどもの学び支援活動助成	10/19 必着	1,515,000	家から始まる学び：外とつながれない不登校の子どもへの訪問・オンライン学び支援	自己資金（民間資金）に充当	申請書完成。メールで提出
2	ベネッセこども基金 こどもの学び支援活動助成（2本目）	10/19 必着	1,751,000	走る図書館が学びの入口に：移動図書館で通えない不登校の子どもに学びを届ける	新しい事業（移動図書館の架装・運行）	申請書完成。事業ごとに申請書を分けて提出
3	日本財団 2027年度 公益・福祉	10/30 17:00	1,707,200	不登校の子どもの保護者が孤立せず働き続けられる地域づくり（保護者支援。事業費2,134,000円、補助率80%）	民間資金に数えてよい か、JANPIA・POに確認（自己負担426,800円）	口座登録（10/23まで）→申請
4	NAGASEこどもみらい財団 事業助成	10/30（事前エントリー）	検討中	孤立の解消・機会格差の解消（年500～1,000万円×2年、人件費可）。休眠預金事業終了後（2028年度）の継続財源にもなる	民間資金に充当可。活動3年以上の数え方を事務局に確認	【追加】事務局（070-1056-9748）に資格を確認→事前エントリー。グッドギビングマークかCANPAN★4が必要
5	麒麟福祉財団 麒麟・地域のちから応援事業	10/31 消印	300,000	地域の大人が先生に！ みんとしょ体験ワークショップ	ボランティア活動（自己資金に充当）	社会福祉協議会の推薦書を受け取り郵送
6	日工組社会安全研究財団 県域安全事業助成	10/31 必着	検討中	青少年の保護（居場所づくり・アウトリーチ）。上限80万円	対象になるか要項で確認	【追加】要項を読み、防犯・非行防止の趣旨に合わせられるか判断
7	ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成	11/4（福岡県へ提出）	510,000	探究学習教材一式（ロボット教材・観察機器・書架等）	物品（休眠の積算に入っていないもの）	見積書をそろえて福岡県へ提出
8	CO・OP共済 地域ささえあい助成（はじめる枠）	11/13	検討中	グリーンコープと連携した、かたる号の食料支援・停留所の活動。上限50万円	自己資金（民間資金）に充当	【追加】グリーンコープに連携を相談→申請

9	キューピーみらいたまご財団 プログラムA 食育活動	11/16 正午	280,000	公民館の調理室を使った食育・料理体験	自己資金（民間資金）に充当	申請サイトで入力（10/19から）
10	日本フィランソロピック財団 子どもすこやか基金	11/16（随時）	検討中	経済的に困っている家庭の小学生への食料支援・学びの支援。上限500万円	自己資金（民間資金）に充当	【追加】募集要項を確認し、対象に合うか判断
11	日本郵便 年賀寄付金 車両購入	11/18 消印	1,800,000	移動図書館「かたる号」の車両（軽バン）購入	新しい事業（総事業費228万円、自己負担48万円）	意見書の依頼・車両の相見積（2社）→ Web申請と郵送
12	赤い羽根福祉基金	11月頃 公募	検討中	未定	共同募金の扱いをJANPIAに確認	公募要項が出たら判断
13	全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金	2027/1/31 郵送	検討中	児童福祉（2027年度の事業。上限200万円、車両購入は対象外）。日本財団などが不採択のときの受け皿	自己資金（民間資金）に充当	【追加】過去3年分の活動写真（各年2枚）を準備。活動3年以上の条件を確認
14	サウンドハウス こどものみらい基金	随時（審査1～2か月）	検討中	困難を抱える子どもの支援（上限120万円）。かたる号の運行費・食料支援	自己資金（民間資金）に充当	【追加】2～3月、ほかの助成金の結果を見て申請
15	原田積善会 助成事業	随時	検討中	児童・青少年の健全育成（自己負担10％程度）	自己資金（民間資金）に充当	【追加】社会福祉協議会に推薦を相談してから申請
16	クラウドファンディング	2027年1月中旬～3月中旬	検討中	移動図書館「かたる号」（目標120万円、助成金がない採択でも車両を確保するため）	かたる号の資金として分けて管理	11月にサイト・リターンを決め、12月にページ作成
申請額の合計（金額が決まっているもの）			7,863,200			

※ ノーリツぬくもり財団（子ども食堂助成）は、子ども食堂を続ける予定がないため見送り。WAM助成は国庫補助のため休眠預金事業には使えない。

※ 民間財団の助成金は、休眠預金事業のロジックモデル内の活動に充てれば自己資金（民間資金）に数えられる。各助成元に併用の可否を確認し、回答を記録しておく。

2027年度（2027年4月～2028年3月）の申請スケジュール（2028年度の事業に向けて）

休眠預金事業は2028年2月で終わるため、2027年度の申請は「休眠預金事業の後も活動が続けるための財源」になる。締切は2026年度の実績からの目安なので、公募が出たら確認する。

	助成元・プログラム	時期（目安）	金額の目安	充てる事業の案	メモ
	こどものみらい基金、原田積善会（随時）	4～6月	～120万円	2026年度に不採択だった事業	結果を見て随時申請
	読売光と愛の事業団 子ども育成支援	7月上旬	要確認	経済的に困難な家庭の子どもの学び・居場所	例年7月上旬締切
	JKA（競輪・オートレース）社会福祉の増進	7月～9月上旬	上限5,000万円（自己負担1/4）	不登校の子どもの孤立対策（対象として明記）。かたる号・居場所の運営	例年7/1～9月中旬。事業費の1/4は自己負担
	ベネッセこども基金 こどもの学び支援活動助成	8月～10月中旬	50～200万円	2026年度の採択結果に合わせて継続申請または新規申請	例年10月中旬締切
	日工組社会安全研究財団 県域安全事業助成	8月～10月末	上限80万円	青少年の保護（居場所・アウトリーチ）	2026年度に見送った場合はここで
	NAGASEこどもみらい財団 事業助成	9月～10月末	年500～1,000万円×2年	休眠預金事業後のフリースクール・アウトリーチの運営（人件費を含む）	活動3年以上・グッドギビングマーク等の条件を満たして申請
	日本郵便 年賀寄付金	9月下旬～11月中旬	～500万円（車両は～250万円）	2026年度に不採択なら車両の再申請、または活動・備品	意見書の準備に約2週間
	ニッセイ財団 児童・少年の健全育成助成（物品）	9月～11月上旬	30～80万円	体験活動・探究の物品	福岡県経由で提出
	日本財団 公益・福祉	10月	上限なし（補助率80%）	保護者支援・居場所の拡充	例年10月末締切
	麒麟福祉財団 地域のちから応援事業	10月	上限30万円	ボランティア活動（地域の大人が先生）	社会福祉協議会の推薦が必要
	CO・OP共済 地域ささえあい助成	10月～11月中旬	50～100万円	グリーンコープとの連携活動（2年目は「ひろめる」枠で上限100万円）	
	キューピーみらいたまご財団	10月～11月中旬	～100万円	食育活動	申請サイトで入力
	全互協 社会貢献基金	10月～1月末	上限200万円	児童福祉の事業	郵送
	赤い羽根福祉基金	11月頃	数百万円～	地域共生の仕組みづくり	共同募金の扱いをJANPIAに確認